

## 〈総合型選抜 I 期（基礎力評価方式）〉

以下の問題の解答を、鉛筆と色鉛筆を用いて画用紙にフリーハンドで描きなさい（画用紙の裏面に必要事項を記すこと）。

### 【問題】

あなたがこれまでで「一番うれしかった出来事」について、「どのような出来事だったのか」と「どれくらいうれしかったのか」が他者に伝わるようにイラストで表現しなさい。

なお、必要に応じてキャッチフレーズや説明文を書き入れるなど、与えられた条件以外は自由に設定してよいものとする。

### 【解説】

まず、あなたがこれまでの人生で「一番うれしかった出来事」を思い浮かべてみてください。たとえば、時間や労力を注いだ取り組みが完成し、周囲から高く評価されたといった「達成感」。自らの行動が誰かの役に立ち、感謝されたといった「対人関係」。あるいは、苦手だったことを克服したといった「成功体験」や、懸賞に当選したといった「幸運」など、具体的・抽象的を問わず、自由にエピソードを選んでみましょう。例えば、文化祭でクラスメイトと力を合わせて取り組んだ展示が優秀賞を獲得したことがうれしかった、という具合です。

次に、その出来事を他者に伝えるための「視覚的な題材」を検討します。自分自身の表情、共に喜んだ仲間の姿、あるいはその象徴となる「モノ」などを考え、状況が伝わるように、イラストのほか、

キャッチフレーズや説明文なども組み合わせてみてください。例えば、イラストでクラスメイトと共に喜びを分かち合っている様子を表すことでうれしさを表現し、黒板の「文化祭」、賞状の「優秀賞」などの言葉を掲示することで、「文化祭で賞を獲得した場面であること」を補足的に伝えます。

最後に、「どれくらいうれしかったのか」という喜びの度合いを伝えるための表現方法を見つけ出します。たとえば、表彰台を描いて「一番」であることを強調したり、対象の大きさや数、色づかいなどを工夫したりして、感情の量を視覚的に表現してみましょう。例えば、描かれた人物全員の笑顔が、うれしさを伝える助けとなるでしょう。

